



STANDARD TOKYO

2026年10月30日

各 位

会 社 名 テクノホライゾン株式会社

代表者名 代表取締役社長 野村 拡張

(STANDARD・コード 6629)

問合せ先 取締役 加藤 靖博

(電話番号 052-823-8551)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月8日に開示しました2027年3月期の通期連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）について、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,000	3,000	2,750	1,700	126.14
今回修正予想(B)	60,000	3,200	2,950	1,900	140.98
増減額(B-A)	5,000	200	200	200	
増減率(%)	9.1	6.7	7.3	11.8	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	51,380	2,332	2,886	2,462	182.68

(2) 業績予想修正の理由

売上高については、映像&IT事業において、セキュリティからオフィス・IT・DX、ICT機器に至る幅広い分野で事業が堅調に推移しました。Pacific Tech Pte. Ltd. によるサイバーセキュリティ分野の拡大や、ESCO Pte. Ltd. におけるHM事業の好調、さらに「DX onMap」をはじめとする新製品・サービスの投入に加え、ロボティクス事業においても、AI関連需要の拡大を背景とした光学ユニットの増産や光学モジュールの新機種立ち上げを着実に取り込んだことなどにより、前回発表予想を上回る見込みです。

利益面についても、売上高の増加に伴う増益効果により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を上回る見込みです。

以上の理由から、通期連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上